

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年9月1日（火）

2 確認箇所

- ・5／6号機取水路開渠（図1）
- ・北側護岸エリア浚渫土砂置き場（図1）
- ・覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）（図1）

3 確認項目

- （1）5／6号機取水路開渠内浚渫作業及び浚渫土砂置き場の状況
- （2）覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）解消作業の状況

4 確認結果の概要

（1）5／6号機取水路開渠内浚渫作業及び浚渫土砂置き場の状況

東京電力では、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）について、トリチウム濃度が1,500Bq/L未満となるよう、海水で十分に希釈した上で海洋に放出している。希釈用の海水は、5／6号機取水路開渠（港湾内）から5号機取水路を通じて取水しており、港湾外から開渠内へ流入する砂が取水に悪影響を及ぼすことを防ぐため、海底の堆砂状況に応じて浚渫作業を実施している。

今回、浚渫作業及び浚渫作業に伴い発生する土砂の搬出先である北側護岸エリア浚渫土砂置き場の状況について確認を行った。

【5／6号機取水路開渠内浚渫作業の状況】（前回確認：令和8年5月26日）

- ・前回確認時に引き続き、6号機取水口北側に設置された栈橋上から浚渫作業が実施されていた。（写真1）
- ・浚渫作業が行われているエリアの南側には、浚渫土砂の水抜きを行うための浚渫土砂用ピットが設置されており、浚渫土砂のピットへの搬入作業及び水抜き後の浚渫土砂の北側護岸エリア浚渫土砂置き場への搬出作業が行われていた。（写真2）
- ・現場には監視員が配置され、浚渫作業及び浚渫土砂の搬出入作業が安全に配慮しながら実施されていた。
- ・作業エリアには、重機等から油が漏えいした場合に備え、油吸着マット等が備え付けられるなど、海域の環境保全対策が講じられており、周辺海域への油の流出等の異常は認められなかった。（写真3）

【5／6号機取水路開渠内浚渫土砂置き場の状況】（前回確認：令和7年9月22日）

- ・前回確認時に確認した築堤盛土^{※1}は引き続き形成されていた。一方で、

前回確認時に浚渫土砂置き場内に保管されていた浚渫土砂の大部分は搬出されており、北側の一部に残置されているのみであった。東京電力によれば、搬出された浚渫土砂については、構内の第四土捨場へ運搬しているとのことであった。（写真4）

- ・浚渫土砂置き場に保管されている浚渫土砂については、浚渫土砂置き場への搬入基準（表面線量率 γ ：0.01 mSv/h、 β 線：検出なし）が設けられていることから、簡易線量計を用いて表面線量率を測定したところ、表面線量率は0.01 mSv/h未満であり、搬入基準を満たす値であった。

※1 築堤盛土：浚渫土砂置き場において、浚渫土砂を安定的に仮置きするため、海岸線から陸側に約3.5m、満潮時の海水面からの高さ約3.5mの位置に約2mの高さで構築する盛土。築堤盛土の陸側に浚渫土砂を盛土する計画。

（2）覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）解消作業の状況

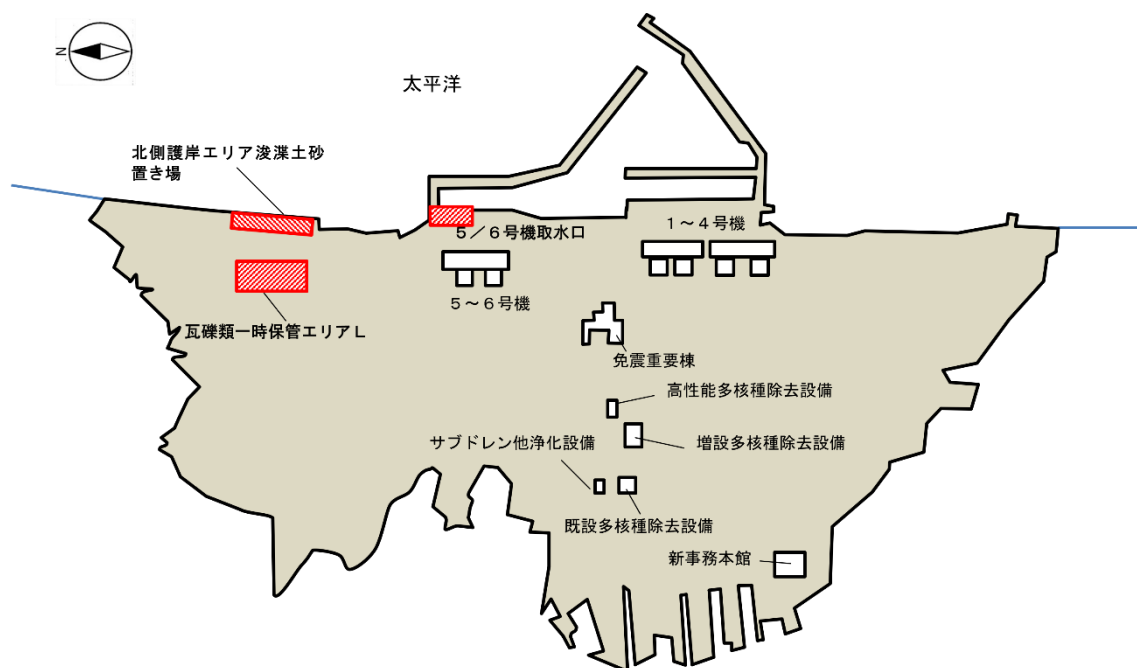
東京電力は、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指しており、各一時保管エリアにおいては廃棄物の保管のほか、分別や破砕、コンテナへの詰め替えなどの作業が実施されている。

今回、屋外の覆土式一時保管施設^{※2}（瓦礫類一時保管エリアL）における瓦礫類の保管状況や施設内での作業状況等を確認した。（前回確認：令和8年8月6日）

- ・現場確認時、瓦礫類一時保管エリアLの南東側にある第3槽において、瓦礫類の取り出しに向けて、一時保管槽を覆う遮水シートの固定部（コンクリート固定工）の撤去作業が行われていた。（写真5）

- ・確認した範囲において、瓦礫類の飛散・流出等の異常は認められなかった。

※2 覆土式一時保管施設：高線量（～30 mSv/h）の金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土による放射線の遮へいを施して一時保管する施設。第1槽から第4槽までの一時保管槽で構成。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 5/6号機取水路開渠内浚渫作業の状況①



(写真1-2) 5/6号機取水路開渠内浚渫作業の状況②



(写真2) 浚渫土砂用ピットの状況



(写真3) 油吸着マット等の設置状況



(写真4-1) 北側護岸エリア浚渫土砂置き場の状況①(南側:搬入口付近から撮影) ※今回確認時



(写真4-2) 北側護岸エリア浚渫土砂置き場の状況②(南側:搬入口付近から撮影) ※前回確認時



(写真4-3) 北側護岸エリア浚渫土砂置き場の状況③(北側:エリア中央部から撮影) ※今回確認時



(写真4-4) 北側護岸エリア浚渫土砂置き場の状況④(北側:エリア中央部から撮影) ※前回確認時



(写真5-1) 瓦礫類一時保管エリアL(第3槽)における遮水シート固定部の撤去状況①



(写真5-2) 瓦礫類一時保管エリアL(第3槽)における遮水シート固定部の撤去状況②

5 プラント関連パラメータ確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。